

# KIRAKIRA PRESS

吉良州司の「きらきら広報」 2018.01  
www.kirashuji.com

Vol.16

KIRAKIRA PRESS

2018 01 Jan Vol.16

きらきら広報2018年 第16号 発行日：平成30年1月1日 発行者：吉良州司と元気な大分を創る会  
連絡先：〒870-0820 大分市西大道2-4-2 TEL.097-545-7777 FAX.097-545-7760 URL: <http://www.kirashuji.com/> E-mail: kirakira@kuh.biglobe.ne.jp

【討議資料】

## 新世紀日本の創造

# 真に豊かな日本を目指して

### 編集後記

「きらきら広報16号」は昨年2017年の総選挙特集とさせていただきます。ご支援くださったみなさんへの感謝の気持ちが写真や文章を通じて、少しでもお伝えできたならば幸いです。なお、例年の広報誌は、たとえば昨年の15号であれば、「米国大統領選挙」「TPP」「アベノミクス」「外務委員会と地方創成特別委員会の質疑議事録」を特集するなど、国際的課題、国内的課題を取り上げてきました。このような、国の内外の課題についての吉良州司の持論を展開する特集号はあらためて制作したいと思っています。

### 事務局からのお知らせ

### 寄付のお願い

これまでに寄附を戴いた皆さんに、この場を借りて改めて御礼申し上げます。戴いた貴重な寄附は政治活動に有効に使わせて頂くと共に、全て政治資金規正法に基づき、選挙管理委員会に報告しております。初当選から14年が経ち、活動範囲も拡がり、それに伴う支出も増えてまいりました。何卒ご理解の上、ご協力戴きますようお願い申し上げます。尚、寄附は個人でも法人でも税額控除の対象となりますので、詳しくは事務局にご相談下さい。※政治資金規正法では外国人及び外国法人からの寄附を禁止していますので、ご了解下さい。

- 大分銀行中島支店  
普通口座/7523107  
名義/希望の党大分県衆議院第1選挙区支部 代表 吉良州司
- 大分銀行 にじが丘出張所(個人向)  
普通口座/5081725  
名義/吉良州司と元気な大分を創る会 代表 吉良州司
- ゆうちょ銀行(個人向)  
記号/17260 番号/15330121  
名義/吉良州司と元気な大分を創る会

吉良 州司 1958(S33)年 3月16日生

## PROFILE

- 1964(S39) 大分市立津留小入学、別府市立南小、中津市立南部小学校卒業
- 1973(S48) 大分市立城東中学校卒業
- 1976(S51) 大分県立大分舞鶴高校卒業
- 1980(S55) 東京大学法学部卒業、日商岩井(株)入社(人事部)
- 1984(S59) ブラジル連邦共和国ジュイス・ジ・フォア連邦大学留学
- 1985(S60) 日商岩井電力プロジェクト部
- 1989(H元) 大分県出向(企画総室、農政部、商工労働観光部)
- 1991(H3) 日商岩井帰任(電力プロジェクト部)
- 1995(H7) 日商岩井ニューヨーク(インフラプロジェクト部長)5年半駐在
- 2002(H14) 日商岩井(株)退職 世の中を良くしたいと政治を志す
- 2003(H15) 4月 大分県知事選挙出馬 肉薄するも次点295,886票  
11月 無所属で第43回衆院選出馬(大分1区)当選
- 2005(H17) 第44回衆院選(郵政解散選挙)出馬、2期連続小選挙区当選
- 2009(H21) 第45回衆院選(政権交代選挙)出馬、3期連続小選挙区当選  
鳩山内閣において外務大臣政務官を拝命(～第1次菅内閣)
- 2010(H22) 外務委員会理事、民主党政調・外務部門会議座長
- 2011(H23) 経済産業委員会理事、沖縄及び北方問題に関する特別委員会  
筆頭理事、政調副会長、経済連携PT事務局長、防衛部門会議座長、安全保障委員会理事
- 2012(H24) 外務副大臣 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長 第46回衆院選出馬、落選
- 2013(H25) 政策研究大学院大学客員研究員
- 2014(H26) 第47回衆院選出馬、4期小選挙区当選
- 2015(H27) 外務委員会委員、地方創生特別委員会委員(2016年通常国会)
- 2017(H29) 第48回衆院選出馬、5期目 九州比例にて当選

商社勤務時代は主に電力プロジェクト部に在籍し、発展途上国を中心に電力プロジェクトを推進、アジアや中南米などへの出張を繰り返す。5年半のニューヨーク駐在時代は月に2～3回中南米に足を運ぶなど、商社時代だけでも、アジア、欧米、中南米諸国46か国を訪問。ブラジル留学時代の南米南部2万キロの冒険バス旅行など、現場を歩き、自分の目で確かめることを重視する。外務副大臣、外務政務官時代は、日米関係・日米同盟の強化等安全保障に力を注ぐ一方、経済連携の推進など経済外交を通して「日本と日本企業を元気にする外交」に注力。



**吉良州司事務所**  
〒870-0820 大分市西大道2-4-2  
TEL.097-545-7777 FAX.097-545-7760  
URL▶<http://www.kirashuji.com/> 広報誌についてのご意見、お問い合わせなど、事務局までお寄せください。  
E-mail▶[kirakira@kuh.biglobe.ne.jp](mailto:kirakira@kuh.biglobe.ne.jp)



選挙特集

### CONTENTS

- 02 二〇一八年 新年のご挨拶  
再び国政に携わらせて戴き、  
ありがとうございました!
- 04 選挙特集 PART1
- 08 選挙特集 PART2
- 12 全力疾走の選挙カーが行く  
選挙隊スタッフがみた吉良州司の12日間
- 15 2018広報誌 選挙特集  
スタッフ紹介

# 新世紀日本の創造

## 再び国政に携わらせて戴き、ありがとうございます！



あけましておめでとうございませす。お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、突然且つ超短期の総選挙でしたが、みなさんの熱いご支援のお蔭で、再び国政に携わる機会を与えて戴きました。みなさんのご支援に対しては感謝の念しかありません。本当にありがとうございます。本広報誌は、その総選挙を写真と文章で振り返る特集にしております。是非、新聞やテレビでは報道されない側面も含めて目を通して戴ければ幸いです。

## ■総選挙を振り返って

今回の総選挙は「想定外」の連続でした。まずは突然の解散且つ超短期決戦であり、選挙準備は困難を極めました。また、民進党から希望の党へと所属政党が変わったことにより逆風を受けることになりました。「民進党公認候補は原則全員が希望の党公認として出馬する（希望の党への合流）」ことが民進党代表の判断であり、党が決めたことに従って私自身も希望の党

## ■希望の党のこれから

希望の党は紆余曲折を経て小池代表が辞任し、玉木雄一郎氏が代表となりました。小池色は確実に薄まっています。希望の党の再選議員の多くは、民主党政権の中核で活躍した議員たちです。その際、国家の重み、政権運営の難しさとともに、その醍醐味も実感しています。これらの議員たちが中心となって、民主党政権の深い反省を基に、外交安全保障については、我が国を取り巻く極めて厳しい環境に対応した現実的の外交安全保障政策を、そして、内政的には生活者優先の政治、将来世代最優先の政治を、再び政権交代によって実現する政党にしていきたいことになると思います。

最後に今一度、この逆風の中で力強いご支援をしてくださったみなさんに心から感謝します。そして、その恩に報いるためにも、国政に、地元活動に全力で取り組んで参ります。

今年もみなさんにとって素晴らしい年でありますようにお祈りしています。

吉良州司

## ■吉良州司の真意

私は9月28日の解散当日に地元大分のある団体との懇親会に参加しました。懇親会への参加は解散とは関係ない時点で決めていたのですが、結果的に解散後の第一声となりました。その際に次のような挨拶をしました。

『今日、解散となりました。解散後最初にみなさんとお会いできることは嬉しい限りです。雨の日に傘を差してくれた人への恩は決して忘れません。みなさんは、私が落選中も何度も私を講師としてお招き戴き、懇親会にも参加させてもらっていました。みなさんの役に立つ講演をするために勉強しました。貴重な機会でした。みなさんと交流する中で苦しい中でも頑張る勇気をもらいました。解散の日こころやってみなさんと最初にお会いできることに運命を感じます。』

今日の民進党両院総会において、民進党は誰も公認せず、民進党から出馬予定だった議員は原則全員が希望の党公認で出ることにになりました。仮にもし、希望の党と民進党どちらから出てほしいという選択肢があったならば、私は躊躇なく民進党から出ます。

民進党の支持率がどんなに低かろうが、どこかの政党の人気が出たからと言って、尻尾を振って移っていくなどという心根は全く持ち合わせてい

から出ると決断しました。その際民進党公認で出馬予定だった候補者は全員が希望の党に合流するものだと思っていました。合流を正式決定した解散日の9月28日の民進党両院議員総会では、出席した議員のほとんどがそう信じていたと思います。その時点では、排除される議員が出てくようなどと誰が思っていたでしょうか。

しかし、その後、小池代表の排除発言が出てきました。受け入れられないリベラル派の一部は排除の論理に反発して立憲民主党を立ち上げました。またベテラン議員を中心に、無所属を選択する議員も出てきました。その結果、「民進党の党決定」に従って希望の党から出馬する者はみな「小池ブームの風頼み」「当選のために政党をこころ変える」候補者とのイメージになつてしまいました。マスクコミ、特にテレビ各社が個々の候補の考え方や生き方を取材することも検証することもなく、そのようなイメージを国民に刷り込んでいきました。ある議員が安保法制論議の際に、プラカードを掲げて「反対」の急先鋒として立ち居振る舞いながら、希望の党に変わったとたんに「安保法制に賛成」だと言いだすなど、希望の党に殺到した議員は例外なく、このような「節操のない議員」たちだとの印象を与えたのです。残念でなりません。

## ■逆風をはね返してくれた支援者に感謝

しかし、この「希望の党逆風」や自らの不徳が招いた逆風を、草の根支援者のみなさんと組織を挙げて力強く支援してくれるみなさんがはね返してくれたのです。雨の連続で、投票日は台風の直撃で投票率があがらない中でも、大接戦に持ち込んでくれたので

ません。男の生き様としても、そのような行動はできません。今回は民進党からの出馬の選択肢がなくなったので希望の党から出るしかないので。しかし、希望の党に移ろうとも吉良州司の政治信条も政治姿勢も政策も変わることはありません。選挙の戦い方も変わりません。これまで吉良州司を支え続けてきてくれた草の根支援者のみなさん、そして、組織を挙げて常に力強く支援してくれるみなさんとともに戦います。』と。

解散当日はまだ排除発言もなく、希望の党への期待も高まっていた時期です。この時点の挨拶の中で、民進党の支持率がどんなに低かろうが、人気が出そうな希望の党に移るといような心根は持ち合わせていないことを明言していたのです。それだけに、「節操のない議員」とみなされ、結果として大逆風に立ち向かわざるをえなかったことは残念でなりません。



12



11



10



13



10 出陣式／吉良州司の第一声  
11 出陣式／熱心に応援演説に聴き入る支援者のみなさん  
12 出陣式／支援者の馬場さんと  
13 支援者／森孝子さんと



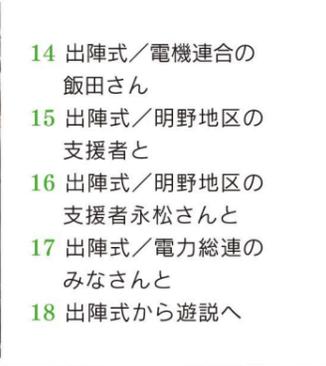
15



14



16



15



16



18



2017.10.10



17



2



1



3



4



5

Special feature of the election  
**選挙特集** PART 1

写真で振り返る総選挙

- 1 出陣式／吉良州司の第一声
- 2 出陣式／候補者本人と足立参議、松尾大分地域協議会議長
- 3 出陣式／支援者の熱気に溢れていました
- 4 出陣式／足立民進党県連代表の激励挨拶
- 5 出陣式／松尾連合大分地域協議会議長の激励挨拶
- 6 公示前の連合大分地域協議会の緊急集会／連合大分佐藤会長の挨拶
- 7・8 公示前の連合大分地域協議会の緊急集会／蓮舫前民進党代表が応援に駆けつけてくれました
- 9 集会直後にマスコミの取材を受ける吉良州司



9



8



7



6



31



30



29



34



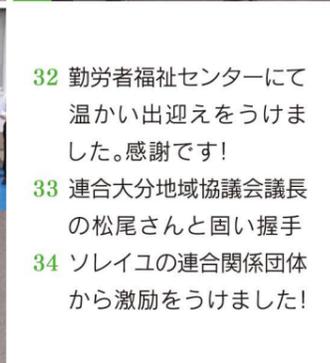
33



32



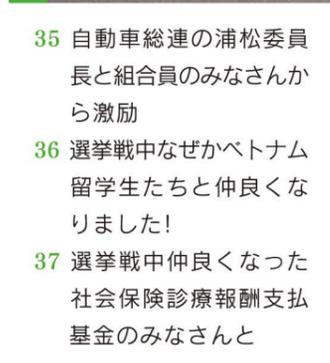
35



32



29



35



37



36



36



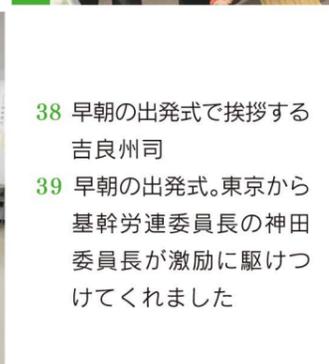
39



38



38



38

29 支援者と感謝の気持ちを込めて固い握手  
30 下郡の加納交差点での朝の手ふり挨拶行動  
31 教育会館のみなさんから激励を戴くと同時に希望の党からの出馬経緯を説明

38 早朝の出発式で挨拶する吉良州司  
39 早朝の出発式。東京から基幹労連委員長の神田委員長が激励に駆けつけてくれました



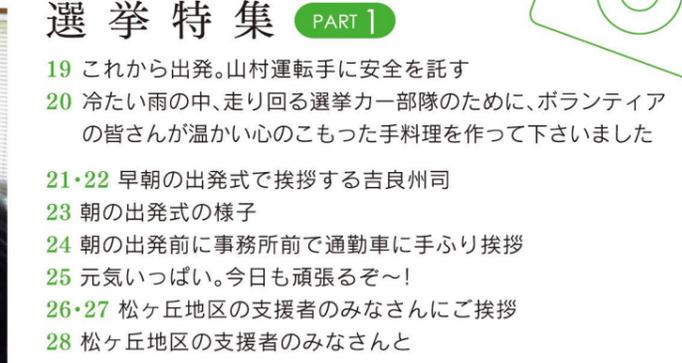
20



19



21



21



25



24



23



22



28



27



26

選挙特集 PART 1

- 19 これから出発。山村運転手に安全を託す
- 20 冷たい雨の中、走り回る選挙カー部隊のために、ボランティアの皆さんが温かい心のこもった手料理を作ってくださいました
- 21・22 早朝の出発式で挨拶する吉良州司
- 23 朝の出発式の様子
- 24 朝の出発前に事務所前で通勤車に手ふり挨拶
- 25 元気いっぱい。今日も頑張るぞ〜!
- 26・27 松ヶ丘地区の支援者のみなさんにご挨拶
- 28 松ヶ丘地区の支援者のみなさんと





13



11



10

- 10 朝のおはよう挨拶手ふり。舞鶴橋の朝は横殴りの風雨でした
- 11 ほぼ毎日が雨でした。雨の中の事務所前
- 12 颯爽と出発。選挙車両の中から「頑張るぞ〜！」



12



15



14



17

- 13 パークプレイス前の交差点での手ふり挨拶行動。この日も雨です！
- 14 朝の手ふり挨拶／新日鐵住金前にて
- 15 宮苑地区で温かい支援者に迎えられる
- 16 新日鐵住金のみなさんが力強く激励してくれました！



16

- 17 きらきら会集会／変わらず熱烈な支援をしてくれる恩義あるきらきら会のみなさん
- 18 きらきら会集会／支援者と親しく会話しながら握手
- 19 政見放送収録の様子
- 20 選挙戦初日。テレビ局の取材を受ける様子



20



19



18



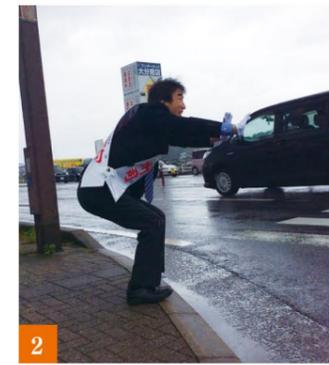
7



8



9



2



1

Special feature of the election

# 選挙特集 PART 2

写真で振り返る総選挙

- 1 JR労組のみなさんが迎えてくれました！
- 2 白滝橋北の交差点にて／大きな反応に気分をよくしてカー一杯手を振り返す吉良州司
- 3 熱心な支援者の激励に思わず笑みがこぼれます！
- 4 グランドゴルフをお楽しみ中すいません！高齢者に熱く語る吉良州司
- 5 ふじが丘の高台の支援者のみなさん。変わらぬご支援ありがとうございます！
- 6 もっとも熱く応援してくれる織部消化器外科の織部先生とスタッフと患者さんから激励
- 7 ふじが丘の高台は大分市の海までが見渡せる絶景ポイント。いつもここで気持ちよく辻立ち演説を行います
- 8 わさだタウンでの手振り行動／手を振りかえしてくれる家族連れに笑顔で応える！
- 9 事務所内での朝の出発式 さあ気合いを入れて「勝つぞ〜！」



4



3



6



5



32



31



34

31 選挙戦終盤ホルトホールでの個人演説会／矢野電力総連会長の挨拶  
32 個人演説会／参加してくれたかわいい支援者と固い握手  
33 選挙戦終盤ホルトホールでの個人演説会にて、吉良州司が大好きのお好み焼き屋の支援者と  
34 市内住宅地での辻立ち演説



33



22



23



21



38



37



36



35



24

選挙特集 PART 2

21・22 個人演説会／大分市職労鹿嶋委員長の音頭で「勝つぞ〜！」  
23 多くの参加者で熱気溢れる個人演説会／藤田正道県議が応援演説してくれました！  
24 個人演説会／参加してくれた支援者と固い握手  
25 個人演説会場／妻が挨拶する様子。今回は妻に助けってもらいました！この先一生妻には頭が上がりません。  
26 個人演説会／木田昇県議が応援演説してくれました！



40



39

35 雨の中でもわざわざ出てきて激励。ご支援ありがとうございます！  
36・37 個人演説会／自治労森迫委員長の「勝つぞ」コールがあまりに迫りすぎて思わず笑みがこぼれる吉良州司  
38 選挙戦最終日の出発式。早朝にも関わらず多くの皆様に応援に駆けつけてくださいました。

39・40 選挙戦最終日のファイナル集会にて／足立信也参議が応援演説と吉良州司の演説  
41 応援して頂いた皆様のおかげで国会に戻ることができました。お一人お一人の思いを受けて一歩一歩階段を踏みしめる  
42 初登庁。感謝の気持ちで登院ボタンを押す  
43 大分の皆さんの思いが詰まったバッチを職員につけてもらう



43



42



41



28



27



26



25

27 個人演説会／平岩県議が応援演説してくれました！  
28 個人演説会／藤田正道県議が応援演説してくれました！  
29 事務所前の車から応援を受けて笑顔で応える  
30 これから出発。厳しい選挙戦中ながらウグイスさんの笑顔もあり選挙車両の中は意外となごやか



30



29



選挙戦の最終日、全力で街頭活動を続けてきた選挙カーが、西大道の吉良州司事務所に戻ってきました。期間中の大半が雨という前例のない戦いを終えたスタッフたちは、ファイナルの興奮状態をそのままに、上気した達成感に溢れていました。

選挙戦を最も身近に、吉良州司と行動を共にしてきた彼らに、その様子を聞かせてもらいました。インタビューに応じてくれたのは、期間中のすべてを一人で運転したドライバー山村さん、数多くの選挙経験を持つベテランウグイスの山崎さん、広瀬さん、江川さん、工藤さん、及び車両長としてナビゲートした池永さんの6名です。

聞き手は、吉良州司の幼稚園以来の無二の親友である大分舞鶴高校23回生の利光隆一です。2003年の知事選以来、ボランティアとして吉良州司の選挙を手伝ってきました。選挙カーという、普段は馴染みのない空間での様子や雰囲気、少しでもお伝えできていれば幸いです。

## 全力疾走の選挙カーが行く

## 選車隊スタッフがみた吉良州司の12日間

**こんな候補者は他にいない**

「まず、吉良州司に対する率直な印象を聞かせてください。」

全員が口を揃えて、

「こんな候補者は他にいません」

「何がそんなに違うのでしょうか。」

山崎「とにかく、吉良さん、車の中でも外でも一瞬たりとも、じっとしていることがないんです」

「みなさんは他の選挙の経験も豊富ですが、他の候補者は違うんですか。」

山崎「車の中では、『どっこいしょ』って感じの人も多いです」

広瀬「吉良さんの一生懸命さって、目じりを釣り上げて、必死でついでいうんじゃないんです」

山崎「ごく自然にやっつてるっていうか、軽々と動き回ってるって感じ」

広瀬「だから、こちらも他の候補者と比較にならないほど吉良さんと一緒に走り回らないといけないけど、でもすごく一緒にやりやすい」

工藤「私もやらなくちゃってね」

江川「みんながそう思うから、車の中の一体感が半端じゃなかったよ」

工藤「吉良さんの人柄なんですよ、一緒に走っていて楽しいっていうのが、他の人(候補者)とは、一番違うことかな」

池永「商社に長く勤めてただけあって、みんなが働きやすい状況を作るのがうまいなと思います」

山崎「私も、吉良さんとの時が、一番楽しくて、やりがいを感じます」

「吉良は総選挙に6回立候補していますが、その6回とも、Bさんはウグイスで参加されていますね。」

山崎「吉良さんは、最初からずっと変わってません。いつも、いつも走り回ってます」

広瀬「人が好きというか、人に会うのが好きって感じですよ」

山崎「人の懐にはいるのがうまいよ」

山崎「そうそう。誰でも、驚くくらい上手」

工藤「見ていると、すぐにどんな相手でも一瞬で打ち解けますよ」

**子どもが大好き**

「相手と打ち解けるための秘訣ってなんでしょう、やり方があるんですか。」

池永「笑顔です」

山崎「いつ見ても笑顔です。急に作った笑顔っていうんじゃないんです」

工藤「笑顔はもちろん、吉良さんって、いつもしゃがみ込んでるっていうイメージがあるんですけど」

広瀬「そう、お年寄りや子どもと接する時に、相手の目線に合わせていつも腰をかがめたり、しゃがんだりしてる山崎「それにしても、吉良さん、子どもが大好きですよ」

池永「子どもがいたら、必ず近寄って行って」

山村「ハイタッチ」

江川「話もよく合うしね」

苑の方を回った時。知事選挙の頃からの支援者の人たちが、スピーカーの音が聞こえると、雨の中に一生懸命、続々と表に出てきてくれた」

山村「吉良さんは、ずっと車の後を走りながら、出てきてくれた一人ずつに頭をさげてた」

山崎「泣いてたね。吉良さん」

広瀬「私たちがね」

**信号待ちの時間すら自らチラシを配る候補者**

「選挙カーという、候補者の名前を連呼して回っているだけというイメージがありますが、吉良州司の選挙カーはどうなんですか。」

山崎「大きな道でスピードを出してるときは、連呼だけの時もあります」

山村「他の車の迷惑にならないことに気を使います」

広瀬「信号で止まった時がすごいよ」

江川「赤信号で止まった時がチャンスって」

山崎「吉良さんがチラシを持って駆け出し、信号待ちの車の窓からチラシを配ります」

広瀬「2台目、3台目と配って行って、次に来るぞっていう車は、窓を開けて待ってくださることもあるんです」

工藤「それが、青信号になって、もらえないと…残念そう」

山村「青信号で走り出したギリギリのところ、吉良さんが飛び乗ってくるんです」

山崎「最初は、もう年を取ったから、前み

池永「あの日ね。荏隈とか、大石町、宮

山村「相手から見えてないと思ったから、車を降りて、走る」

山崎「遠くから手を振ってくれている人にも、自分が見えるように」

広瀬「車に乗ってるより、走ってる方が多い日もあったよ」

## 2018広報誌 選挙特集 スタッフ紹介



吉良州司選対事務局長  
吉良 卓司

突然吹き始めた解散風とともに大分に戻り“何のための解散”、“誰のための選挙か”と納得がいかないまま、また解散から公示まで平日7日の超短期日程、更には党の移籍という過酷な条件の中、毎日3~4時間の睡眠で選挙準備を行いました。そして支援者、組織の皆さまに支援の輪を広げていただくことをお願いし、あとはそれを信じるだけでした。結果は小選挙区では残念ながら勝利することはできませんでしたが、惜敗率では九州比例1位で当選することができました。この限られた時間の中で、最大限の効果を発揮していただいた皆さまお一人おひとりに、心から感謝いたします。本当に有難うございました。



大分事務所  
池永 修丈

はじめまして、私は池永修丈(のぶとも)と申します。今回の選挙は、連日雨が降りしきる生憎の空模様の下で行われました。私は選挙車両部隊の一員として選挙カーの先導を担当させていただき、吉良州司を当選させるべく、大分市内をくまなく走り回りました。結果は悔しくも比例当選でしたが、今は当選したことを素直に喜びたいと思っています。これもひとえに、皆さま方のご支援の賜物だと深く感謝しております。さて、私は選挙後に吉良州司事務所(大分)で秘書として働くことになりました。次の選挙では小選挙区での当選となるように日頃の活動を大事にして、一生懸命頑張りますので、支援者の皆さまのご支援・ご鞭撻を賜りたく、これからよろしくお願いたします。



大分事務所  
吉良 博子

ボランティアのお願いをする間もなく選挙期間に突入、87,392名の方が吉良州司と書いて下さいました。ご支援いただいた皆さまが、それぞれに活動して下さいました結果だと思っております。本当にありがとうございました。これからも皆様のお力をかりながら代議士を支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



大分事務所  
匹田 美春

これまで政治とは無縁の私が、初めてスタッフとして携わり、右も左も解らず戸惑う中、支援者の皆様の暖かいお言葉に逆に励まされました。またバイタリティ溢れるボランティアの方々とお過ごした期間は、人の暖かさ団結力に支えられ心から感謝いたします。この気持ち忘れず頑張ります。ありがとうございました。



大分事務所  
飯田 由美子

昨年より吉良事務所に勤め始めて、ちょうど一年になります。まだまだ不慣れな事も多いのですが、昨年10月の選挙の際には、支援者の方々と一緒に様々な活動に参加させて頂き、本当貴重な体験となりました。週に2日の勤務ですが、近くにお越しの際には、ぜひ事務所の方にもお立ち寄り下さい。



東京事務所  
尾崎 美加

約1ヶ月の選挙中、支援者の皆様には本当にお世話になりました。初めての経験でしたが皆様の吉良州司に対する献身的な応援に感動する日々でした。おかげ様で何とか国会に戻ることができました。このご縁を大切に、ご恩を皆さまにお返しする思いで、これからの仕事に精進してゆきたいと思っております。東京にお越しの際は是非お声をかけてください。国会議事堂や議員会館をご案内します。東京で皆様をお待ちしております!

吉良州司事務所のスタッフからも、改めて新年のお慶びを申し上げますとともに、早三か月が経過しようとしている総選挙でのご支援に対して、一言ずつではございますが、お礼を述べさせていただきます。



### 全力疾走の選挙カーが行く 選挙スタッフが見た吉良州司の12日間

たいには出来ないって言うたのに」  
 広瀬「言ってた」  
 江川「バリバリやってたよ」  
 広瀬「一度も、乗り遅れないところがすごい」  
 池永「ドライバーの運転がうまい」  
 広瀬「吉良さんとAさんの息が合ってるからでしょう」  
 山崎「あれって、反対車線からもバッチリ見えるから、アピール度が大きいよね」  
 F「(信号待ちで候補者が)走り回ってチラシを配ってるなんてないですよ」  
 山村「吉良さんにしかできません」  
**熱が伝わる手振りの力**  
 | 12日間、市内を駆け巡ってきて、みなさんが感じる手ごたえはどうですか。  
 山崎「こんなに雨の続いた選挙戦はありませんから、正直なところ、本当に、声が届いたのかという心配はあります」  
 山村「この選挙は、何といっても雨ですよ」  
 江川「雨の中の手振りは、大変だった」  
 広瀬「椎迫や宮崎の交差点でしょう。府内大橋・舞鶴橋・鶴崎橋」  
 工藤「白滝橋に新日鉄西門。何といても、わざわざタウンとパークプレイス」  
 池永「何度もやった!」  
 山村「雨だからこそ、反応してくれた人たちに對する感激もあります」  
 江川「クラクションで答えてくれる人が、だんだん多くなったのは感じます」  
 広瀬「交差点での手振りでも、雨だと窓を開けてくれない」  
 池永「でも、ずっと振り続けると、少し窓を開けて、指だけで手を振ってくれたりね」  
 広瀬「最後は、窓を全開にして、手を振りかえしてくれたら、ヤッターですよ」  
 山崎「こんなに雨じゃなければ、もっと広げられたのになアと、それは残念に思います」  
 広瀬「一人でも多くの人に、吉良さんに接してもらいたかったです」  
 山崎「走り回っているときの吉良さんのオーラはすごいよね」  
 江川「吉良さんが、走って行って、握手してくれば、これで1票獲得って思っちゃおう」  
 工藤「吉良さんと一緒に、車の中で、みんな喜び合ってます」  
 広瀬「そういう一つ一つの達成感が、また、やるぞっていうエネルギーになるんです」  
 山崎「やっぱり、こんな候補者はいません」  
 山村「ものすごいエネルギーを持っていて、それが握手した相手に伝わっていくのが、本当に、見えるみたいなんです」  
 広瀬「手から湯気が立ってる?」  
 工藤「ほんと、そういう感じ」  
 | それじゃ、次回もまた一緒にやられますか?  
 「もちろんです」  
 「絶対呼んでください。かけつけます!!」  
 | お疲れのところありがとうございます

文：利光隆一